



感染症週報

令和6年9月2日発行



小笠原での流行状況

第35週（8月26日から9月1日まで）

父島 COVID-19の報告が6例ありました。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

東京都全体での流行状況

【主な感染症】

第34週（令和6年8月19日～8月25日）

インフルエンザ (増加)

COVID-19 (増加)

咽頭結膜熱

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (増加)

感染性胃腸炎 (増加)

水痘

手足口病 (増加)

伝染性紅斑

突発性発しん (増加)

ヘルパンギーナ (増加)

百日咳

風しん -

流行性耳下腺炎

RSウイルス

流行性角結膜炎 (増加)

無菌性髄膜炎 -

マイコプラズマ肺炎 (減少)

感染性胃腸炎（ロタウイルス）(増加)

※ 赤字の感染症は警報または注意報レベルは報告なし、記載がないものは大きな変動がないことを表します。

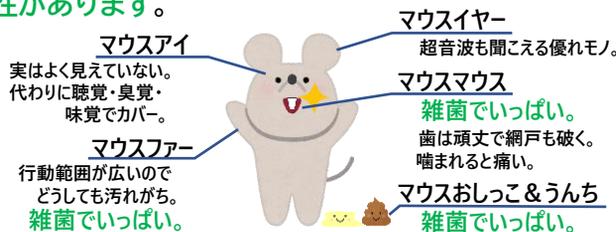
感染症メモ

参考、出典：東京都保健医療局HP

- 手足口病の定点当たり報告数は、4.55で警報レベルが続いています。
- 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、4.79で前週より増加しており、今後の動向に注意が必要です。
- 今週はネズミが関連する感染症についてです。現在父島では主にクマネズミが、母島ではクマネズミのほかドブネズミ、ハツカネズミが生息していると考えられています。いずれの種類ネズミも何かしらの病原体を保有しており、接し方によってネズミの持つ病気に感染してしまう恐れがあります。また、ネズミは伸び続ける歯を削るため硬いものをかじる習性があり、電気コードや配線を断線させることがあります。まずはネズミが家の中に入ってこないように、通れそうな隙間（1～2cmでも通れる）は塞ぎ、通風孔や換気扇などは網目の細かい金網等でしっかり覆っておきましょう。

ネズミと感染症

ネズミはヒトにとって有害な病原体をたくさん持っています。また、糞や尿をしながら移動するという習性があるため、ネズミのいた場所、触れた場所には病原体がついている可能性があります。



ネズミに噛まれた！

ネズミの口腔内にいる原因菌によって、発熱や関節痛を引き起こす鼠咬症になることがあります。

ネズミやネズミの糞尿に触れた！ ネズミが家の中に出没する！

ネズミの体や糞尿にいる病原体に触れると、皮膚糸状菌やサルモネラ菌、レプトスピラ等に感染することがあります。これらは生活環境や食品がネズミの糞尿で汚染されることでも起こります。



他にも、ネズミからノミなどの昆虫を介して感染する病気もあります。例：縮小糸虫症、ペストなど

家屋内にネズミが侵入しないようにしましょう！
ネズミやネズミの糞尿には
素手で触れないようにしましょう！

習慣にしよう！

感染予防の基本は手洗い

東京都島しょ保健所小笠原出張所

もし触ってしまった場合はすぐに石鹸で手を洗ってください

